



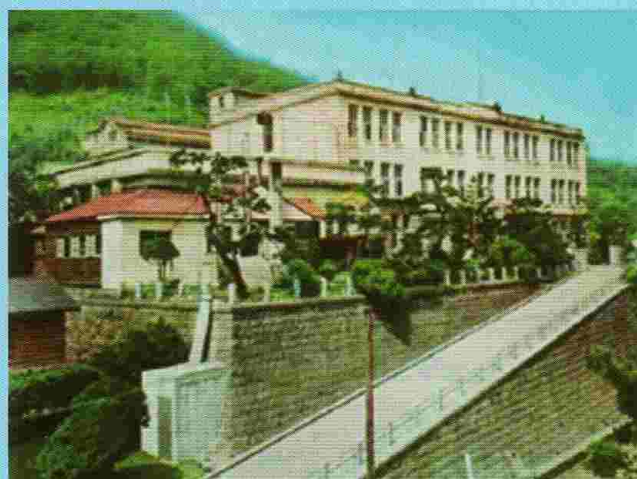
函館高女・函館女子校・函館西高

ついでに函館

題字揮毫/函館西高等学校・書道部三年 若山 翔



八幡坂



旧校舎



も く じ

1.	挨拶文		
	つゝじヶ丘同窓会札幌支部長	浅野 元広	2
	函館西高等学校校長	小松 信夫	3
	つゝじヶ丘同窓会会長	中山 浩一	4
	つゝじヶ丘同窓会東京支部会長	佐々木太郎	5
	つゝじヶ丘同窓会関西支部会長	中村 浩	6
	つゝじヶ丘同窓会前札幌支部長	林 寿正	7
2.	平成28年度総会		8
	平成28年度総会・・・出席者名簿		9
	平成28年度総会・・・メッセージ等		10
3.	記念講演会 作家:森 真沙子 (西11)	「幕末の箱館はこんなに面白い」	12
4.	寄稿文 馬嶋元子 (高女39)	「高女時代の思い出」	14
5.	寄稿文 伊藤祐輔 (西5)	「同窓会と私」	15
6.	西高の卒業生数一覧		16
7.	つゝじヶ丘同窓会札幌支部の実施記録		17
8.	函館歴史年表		19
9.	札幌歴史年表		20
10.	本校および部活動の歩み年表		21
11.	西高周辺等写真		22
12.	校舎変遷写真		24
13.	函館今昔写真		25
14.	役員名簿及び会則		26
15.	高女校歌と校舎写真		27
16.	西高校歌と校舎写真		28
17.	協賛広告		29

《表紙の題字について》

「つゝじヶ丘同窓会札幌支部50周年記念誌」刊行にあたり、函館西高、藤井先生を通じて書道部顧問の佐々木先生に題字の揮毫をお願いしました。

表紙の題字「つゝじヶ丘さっぽろ」は、書道部三年の若山翔（わかやまかける）さんが書かれたものです。若山さんは平成28年「第40回全国高等学校総合文化祭」において書道部門の最高賞「文部科学大臣賞・奨励賞」の栄誉に輝きました。

今後ますます彼の活躍を期待したいものです。



札幌支部創立50周年を迎えて

つゝじヶ丘同窓会札幌支部支部長
浅野 元広
(西高18回生)



札幌支部同窓生の皆さまにおかれてはお元気にお過ごしのことと存じます。

さて、今年で札幌支部創立50周年としましたが、その所以についてご説明いたします。札幌支部では、1966（昭和41）年から1982（昭和57）年までの毎年の同窓会の状況等が、歴代の諸先輩によって記録された「同窓会準備覚書」と題する古い大学ノートが先輩から受け継がれています。この覚書の第1頁は「つゝじヶ丘同窓会札幌支部再建」と題されており、1965（昭和40）年12月、本校から札幌支部再建を依頼されたとあり、昭和41年6月19日に再建後の支部総会が開催されています。昭和41年開催の総会は「再建」総会ということですから、それ以前にも支部総会が開かれていたこととなりますが、その時期、開催回数等がよくわからず、また、毎年、定期的に開かれるようになったのは昭和41年以降と考えられますので、札幌支部では昭和41年開催の総会を第1回とみなすことにしました。その結果、今年（平成26年）が50周年記念総会（第51回総会）にあたるのです。覚書には「41年1月27日何も資料がないので35年度発行の名簿を見て1回生から探し始めた」と記述されていて当時のご苦勞がしのばれるとともに、「再建」をめざした先輩達の熱気のようなものが伝わってきます。50年という長い期間にわたって、支部同窓会を継続されて来られた函館高女、函館女子高そして函館西高の諸先輩のご努力と熱意に敬意を表します。

50周年にあたり、札幌支部では何らかの記念事業を行うことにしました。予算が限られておりますので、あまり大げさなことはできませんが、まず、50周年記念誌を発刊することとしました。札幌支部では、これまで、毎年、「函西さっぽろ」と題する支部会報を発行してきましたが、これを膨らませ、また、これまでの支部の活動等をできるだけ整理したものです。とはいっても、会社等と違いますから過去の資料も限られており、わかる範囲での記録にならざるを得ませんでした。後続の世代が今後の支部活動を続けていくための参考資料としての役割を果たせたら良いなと思っています。

次に、11回生の作家森真沙子さんの格別のご配慮により記念講演会を実施することができました。「箱館奉行所」をテーマにしたもので、50周年記念行事にふさわしいものだったと思います。また、西高の在学生との繋がりをもちたいということから、西高の先生方のご協力を得て、50周年記念誌「つゝじヶ丘さっぽろ」の題字を西高書道部3年の若山翔君に揮毫してもらいました。若山君は、全国高等学校総合文化祭(2016ひろしま総文)で文部科学大臣賞(最高賞)を受賞した実力者であり、若山君に揮毫してもらったのは勿体ない位です。さらに、西高放送部に、在学生の部活や行事等を撮った素晴らしいビデオ作品を作ってもらいました。高校時代が蘇って懐かしく思えるとともに、後輩達の元気な様子を見て嬉しく思いました。これらの活動を通して、現役の西高生にも同窓会への関心をもってもらい、それが今後の同窓会活動に繋がっていったら嬉しい限りです。

石川啄木の歌に「ふるさとの訛なつかし 停車場の人ごみの中に そを聴きにゆく」というのがあります。確かに、同郷というだけで人ごみをかき分けて行きたくなるという心境があります。まして、同窓となると、一篇に心を許してしまうものです。誰もが経験のある事と思いますが、社会人になって同窓の先輩、同輩、後輩に出会うと、無性に嬉しいものです（それが、詐欺商法等に悪用されたりもしましたが）。喜怒哀楽を伴った訛なつかしい「ふるさと」への愛着、それが同窓会活動を支えているのかもしれない。だから、どこの学校にも同窓会があり、それが長く続くのでしょうか。

札幌支部も50周年を迎えました。これを機に、札幌支部が発展し、後輩に受け継がれていくことを願ってやみません。

ところで、函館西高が昭和58年に開校された函館陵北高と2019年度に統合されるということです。函館東高は平成19年に函館北高と統合されて市立函館高になっています。函館の公立普通高校は、昭和38年に函館北高ができるまでは、西高、東高、中部高の3校だけでしたので、実質的には、昔の3校に戻るわけですが、形としては陵北高との統合により新たな高校が新たな名称の下で誕生するのでしょうか。個人的なことをいえば、私の出身小学校の大森小は東川小との統合であさひ小になり、出身中学校の旭中は新川中との統合で宇賀浦中になりました。ここで函館西高もなくなるのは寂しい限りですが、一つの歴史の流れでしょうか。しかし、つゝじヶ丘同窓会は、同窓生がいる限り存続していくものと思います。



50周年を祝して

北海道函館西高等学校長
小松 信夫



つゞけ丘同窓会札幌支部が50周年を迎えられ、あわせて記念誌が刊行されます慶賀に、心からお祝い申し上げます。

また、日頃より札幌支部の皆様には、母校の教育活動に対しまして、格別のご理解とご支援を賜りますことに厚くお礼申し上げます。昨年度挙行されました創立110周年記念式典におきましても、特段のご支援を賜り、重ねて感謝申し上げます。

緑豊かな函館山の麓、八幡坂を登り切ったところに建つ母校からは、今日も駒ヶ岳や横津連峰、津軽海峡と下北半島、そして眼下に函館港や市街地を一望できます。正午にはハリストス正教会の鐘の音が聞こえ、「昼休みまでもう少し」と空腹をなでる姿は、今も変わりません。懐かしい学び舎には、後輩たちが日々の授業に集中する姿、それぞれの進路実現を目指して土曜講習や模擬試験に取り組む姿、学校行事にクラスが団結して頑張る姿、部活動に汗を流す姿があふれています。

北海道新幹線の開通もあって、函館、特に西部地区には連日たくさんの観光客が訪れています。八幡坂（チャーミーグリーン坂と言っても、今の生徒には伝わりませんが・・・）では、途切れることなく記念撮影が行われています。近年はアジアからの観光客がととも増えています。その賑やかな中を、伝統の制服に身を包んだ生徒たちが元気に坂を登ってきます。素直で明るく礼儀正しい西高生と地域からも高く評価されています。

本校は平成24年度から「キャリア教育」の研究指定校として、地域との連携を深めながら先進的な実践を進めています。西部地区育ちの生徒は減少し、比較的遠くからの通学が増えましたが、3年間、函館山の頂を仰ぎながら坂を登り、100万ドルの夜景に感激しながら家路につく毎日を積み重ねて、開港地としての歴史と文化の息吹をたっぷり吸い、国内でも稀なロケーションで学ぶ生徒たちには、故郷への愛着と誇りが自然に育ち満ち溢れています。そのため、地域での様々なボランティア活動に熱心に取り組む西高生と評判です。さらに西高生が主体的に地域活性化の企画に取り組む「ウエスト・ヒルズ・プロジェクト」や西部地区の幼・小・中学校そして町内会などと一緒に楽しむ「西部地区総合芸術祭」など、本校生徒独自の活動が盛んに行われています。

今年度も部活動は活躍を続けています。インターハイには陸上競技部（円盤投げ）が、全国高校総合文化祭には書道部が出場しました。特に書道部の若山翔くん（3年）は「文部科学大臣賞」の榮譽に輝き、全国大会の頂点を極めました。また、全道大会には地区大会5連覇を重ね全国大会を狙う女子バレー部をはじめ、陸上競技部、卓球部、空手道部、美術部、書道部、文芸部、写真部、理科部、放送局、図書局、吹奏楽局と多くの部が進出しています。

これら全ての活躍は、つゞけ丘同窓会の皆様、諸先輩方が培ってこられた伝統のおかげです。生徒たちは創立111年目を迎える道内屈指の伝統校の一員であるということと、先輩方が営々と重ねてこられた西高の文化の厚みを自覚し感謝しています。

その伝統を誇る母校と故郷にも少子化の波が押し寄せています。平成29年度入学生からは3学級になります。そして報道などでご存知かと思いますが、平成31年4月に函館西高校と函館稜北高校が統合され、1学年6学級の新たな高校に再編されることが9月6日に北海道教育委員会より発表されました。現在、両校の教職員による統合推進委員会を組織し、地域の子どもたちにとって一層魅力あふれる学校づくりに向けて協議を重ねております。

使用校舎は本校と決まっております。歴史と文化が香る西部地区にある唯一の高等学校として、この恵まれた環境を活かし、故郷に誇りを持ち世界に羽ばたき活躍する若者、地域の次代を担う若者を育む学校づくりを進めます。「志高く」という素晴らしい校訓のもと、「この坂から」夢に向かって船出し、現在ご活躍のつゞけ丘同窓会札幌支部の皆様が培ってこられた伝統を大切にしながら、新たな時代に向かうこととなります。

八幡坂や日和坂を登って通学したという3年間の共通の思い出は、これからも未永く続きます。これからの卒業生にとっても、同窓の諸先輩方のご指導とご支援、つながりは大切な財産です。つゞけ丘同窓会の皆様の温かいご支援を新たな時代の卒業生や在校生にとっても、引き続き賜りますようぜひともお願い申し上げます。札幌や道央方面に進学や就職する卒業生も多数おります。皆様のお仲間に加えていただいて、つゞけ丘同窓会札幌支部がますます発展されますことを衷心よりご祈念申し上げますとともに、浅野支部長様はじめ皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



つゝじヶ丘同窓会札幌支部 50周年に寄せて

つゝじヶ丘同窓会会長
中山 浩一
(西高9回生)



同窓会会長西9回生の中山浩一です。

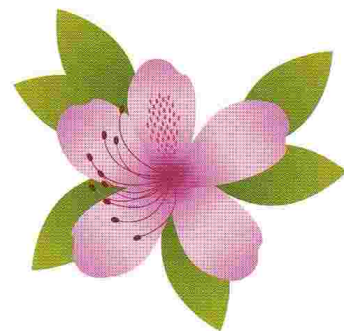
「つゝじヶ丘同窓会札幌支部」記念誌発刊にあたりまして一言ご挨拶申し上げます。

まずは去年10月の110周年記念式典及び懇親会に札幌支部より多数の方々のご出席をいただき心からお礼申し上げます。

110周年の事業が終了しほっとしていましたが、多分11月頃かと思いますが稜北高校との統合の話がありました。学校関係者は以前から承知していた様ですが私達役員にとっては突然でしたのでビックリした訳ですが、市教委・道教委主催の説明会があり、以前函館東・北高の合併では同窓会の会合が1回も行われていないとの話があり、今回の統合では両方仲良くやれればと思っております。今月の6日に道教委は正式に統合が発表され計6クラス2019年(平成31年)4月からで校名は決まっておりますが、西高の場所は変わらずという事です。

函館は新幹線効果でホテルが一杯で地方から来る人は大変な様ですが、日銀発表の北陸新幹線の金沢の入込客数が6月では半分に減少したとの報告があり函館もその様な事がないように市民全体が危機感を共有し未来に向けて頑張っていきたいと思っております。

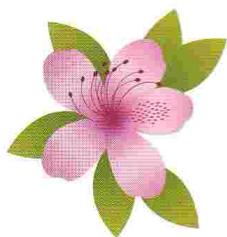
札幌支部の益々の発展を祝します。



▲昭和40年旧校舎全景



▲校舎(現在)





札幌支部50周年に寄せて

つゞじヶ丘東京支部会長
佐々木 太朗
(西高14回生)



札幌支部発足50周年おめでとうございます。東京支部は昨年30周年となる第16回記念総会を開催したばかりですので、札幌支部の方が20年ほど先輩になりますね。

東京支部の30年を振り返ってみますと、発足は昭和60年に高女の同窓会に西高の同窓生有志が参加したのがきっかけでしたが、当時は高女のおばさまたちが幅を利かせており、西高の同窓生の若い人は人数制限で入れなかったようです。東京支部の名簿を最後に作成したのが平成9年ですが、総人数3,500名、高女の卒業生が50ページ、西高卒業生は25回生(当時40歳)までで110ページのボリュームでした。それより若い人はまだ同窓会のメンバーとしては認識されていませんでした。どちらかというと人数が多すぎるため、制限をしていたようです。

しかし、月日が経つにつれ、その軌跡は右肩下がり、といいますか構成員の減少と高齢化に悩むようになりました。東京支部事務局を立ち上げ、年会費を徴収するようになりましたが、把握できる同窓生の総数は3500人から、1700人と半減、2年に1度の総会出席者も400人近くから200人余りへと減ってきております。以前は、総会幹事は各学年が持ち回りで、400人も着席で入る総会の会場を探すのが総会幹事の最大の苦勞でしたが、最近は総会幹事を事務局が行い、目白の「椿山荘」での開催が定例化しております。

また今年の総会では、高女・女子高の出席者の割合が1割を切るとともに、出席者の平均年齢がついに70歳に達しました。卒業生の絶対数の減少だけでなく、東京地区への進学、就職率の減少により、若年層の参加者不足に悩んでおります。そのような中、事務局活動の拡充、ホームページや会報の充実、同期会活動への補助など打てる手を打ってきており、ある程度その成果は出てきております。道は遠くとも一步一步着実に進んでいくほかはないと思います。

数年前に札幌支部総会に出席させていただきましたが、60名弱のこじんまりした集まりで、正直もっと大勢の出席者を想像しておりましたのでびっくりしました。総会出席者数が同窓会活動の目的でないのはもちろんですが、支部管内の同窓生の数は、多分東京と同等かそれ以上いると思われます。ですから、現在まで数十人規模の総会出席者の数は、やりようによってはまだまだ伸びしろがあると思っています。東京支部の場合は、同窓会は同期会の集合体であるという位置づけで、各学年を代表する学年幹事会を最高決議機関とし、学年ごとの結束を呼びかけています。

札幌支部は函館までの距離が比較的近いいため、函館で開かれる同期会への参加者は多いでしょうし、本部(函館)の総会に出れば札幌支部の総会に出る必要はないという考え方の人もおられるでしょう。また、大学区制移行により函館西部との地縁が薄くなってきておりますため、卒業生の西高への帰属意識も希薄化しているかもしれません。支部としてのありかた、存在意義について、東京とはまた違う悩みをお持ちのことと思います。

今年3月に北海道新幹線が新函館北斗で開業し、観光客などでいっとき函館の街はにぎわっているようですが、長期的には厳しいものがあると思います。他方、新幹線が札幌まで延伸されると函館は通過都市になり、札幌への求心力は逆に増していくでしょう。

折しも開校110年経った西高が陵北高校と統合されることが決定しました。しかし「この坂から」で学んだ校舎は西高のものが残るようです。今後とも札幌・東京両支部がお互い手を携えて同窓会活動の活性化に取り組んでまいりましょう。



札幌支部50周年のお祝い

つゝじヶ丘同窓会関西支部会長
中村 浩
(西高9回生)



つゝじヶ丘同窓会札幌支部再建50周年記念おめでとうございます。札幌は、東京に次ぐ多数の会員を有する支部で、会員の減少が目立つ我々関西支部に比べると羨ましい限りです。

我々の関西支部は、ここ数年にわたり会員の減少、高齢化、特に高女卒の会員の総会への出席が困難になりつつあるなど、諸般の事情から、平成25年度、および26年度と2年間、総会が開かれませんでした。一時期は、幹事会の一部にはこの関西支部廃止の意見もありましたが、この2年間の空白を乗り越えて会の規模を縮小してでもこの伝統のある関西支部を存続させることといたしました。昨年度は、本校の創立110周年の行事もあり、これが会の再開に追い風ともなり、昨年11月の関西支部の総会において、今後の会の継続を決定し、運営方向を提示することができました。大きな変更点は、総会開催は1年毎を改めて2年毎としたことです。また、会員からの年会費は、当分の間、徴収しないことといたしました。なお、総会開催を2年毎にしたのに伴い、会員の親睦を計るために年2回程、幹事会主催の集まりを開くことを計画しております。その手始めとして本年の4月2日に、大阪城公園西の丸庭園での「お花見の会」を開きました。

先にも述べましたように、会員の減少をいかにするかが問題ですが、この減少の原因の一つは関西地区にやって来る本校の卒業生が少なくなっていることによります。それに加えて卒業生名簿を発行しなくなっているため、卒業生の情報が得られなくなっております。これらを出来るだけ改善するため、インターネット上にホームページを掲載してここから卒業生にアクセス、会員登録を促す方法を試みることにいたしました。これについては、幹事の中谷基さん(西高20回生)に全面的にお世話になりました。今後は、会の予告なども、ホームページ上で連絡することにしております。

ここで、本校と函館陵北高校との再編統合について触れたいと思います。平成28年1月21日の「函館の高等学校教育の在り方検討協議会の報告(函館市内高校の統合再編について)」の議題での同窓会臨時代表幹事会において、さる平成27年12月17日に行われた「第1回函館の高等学校教育の在り方検討協議会」での決定事項が報告され、協力の要請がありました。さらに、6月7日に北海道教育委員会より公立高等学校配置計画の案が発表され、この案にはわれら母校函館西高校が、平成31年4月に函館陵北高校と再編統合され、本校校舎を使用校舎として新たな高校としてスタートすることが示されております。

この計画案については、“北海道教育委員会のホームページ”にも、「渡島学区高校配置計画案概要」および「渡島学区高校配置計画案」にかなり以前から掲載されていて、学校計画、高校教育、高校配置計画についてと、辿っていくとこれら2つのファイルが閲覧することができます。これらによると、平成31年4月に6学級数の募集で函館西高等学校の校舎を使用し新設校として開学され、函館西高等学校については、本年度は4学級編成であるが平成29年度から1学級減の3学級編成になることも記載されております。

平成31年度西・陵北両校の生徒募集の停止、新設校の生徒募集開始に伴い、29年度、30年度入学の旧両校の1年生、2年生の生徒は新設校に転校し2年生、3年生にそれぞれ編入することになります。従って、これらの生徒は新設校卒業生となります。これら卒業生が輩出する時点、あるいは31年度入学の真の1期生が輩出する時点で、今後の同窓会の在り方が問われるでしょう。

同窓会の在り方としては、西高の「つゝじヶ丘同窓会」と陵北高校同窓会が一本化した同窓会が出来れば、新設校の同窓生が参加するという形体となると思われます。さもなくば、3同窓会が並列という形体となり、新たな卒業生が入会してこない旧同窓会はいずれ自然消滅となることでしょう。このことに関しては、つゝじヶ丘同窓会本部をはじめ、各支部の奮闘にかかっております。ここ札幌支部に期待しております。

関西支部においては、平成28年4月より前任の富士昭一会長から中村浩(西高9回生)がこの任を引き継ぎました。本部の中山浩一会長からも、私の会長在任中は関西支部を潰さないでくださいよ、との励ましのお言葉をいただいております。関西支部のあり方をあらためて見直しております。

勢いのある元気な「つゝじヶ丘同窓会札幌支部」の皆様の御活躍・御発展を心から願っております。



つゝじヶ丘同窓会札幌支部 50周年記念ご挨拶

前札幌支部長
林 寿正
(西高21回生)



つゝじヶ丘同窓会札幌支部 50周年、誠におめでとうございます。また、記念誌の発刊をこころよりお祝い申し上げます。

そして編集委員の皆様大変お疲れ様でございました。

創立50年の長きにわたり、これまで札幌支部活動を支えていただいた歴代の関係役員の皆様のご努力、そして同窓の皆様のご支援ご協力にあらためて厚くお礼申し上げます。

これまで、約40,000人の卒業生が巣立ち、ふるさと函館をそれぞれの進路で離れ、その後こうして道都札幌で、のべ3,000名近くが過ごされていることは、凄いご縁を感じます。

私が初めて札幌支部に参加させて頂いた20年程前は、毎回、駅前東急ホテルで高女の皆様が多く参加され、とても華やかに楽しんでおられました。支部長は、名取様から坂井様に受け継がれましたが、体調の影響で急きょ代理として引継ぎをさせて頂きました。不慣れな大役のため何とか支部を盛り上げようと「相互の親睦と母校の発展」に沿って、手始めに名簿のデータベース化や情報収集、発信を行い、HPも活用したり、数年前からは函館地区の他校との交流を図ってみたり、幹事の増強などいろいろと試行錯誤しながら浅野様へとバトンタッチ致しました。

函館も開港から160年が経ち、母校も110年の歳月を重ねると、あらためてその奥深い歴史と伝統の重みをズシリと感じます。昭和43年の一年生の時、函館大学が被害を受けた青森県東方沖地震が起き、避難したグラウンドの地割れなどで初めて怖い思いをしました。サケマス独航船の最盛期、函館港を大漁旗たなびかせて一斉に出漁する光景は、汽笛と別れの五色テープも乱舞し圧巻でした。所属していた吹奏楽部が京都の全国大会に出場し、その頃ラグビー部も出場していたのが本当に懐かしいです。

ほんの半世紀前でありながら、価値観も社会も経済も科学も遥かに想定を超え、未来の姿「鉄腕アトム」の世界は、今はほぼ9割強実現しています。産業革命を遥かに超えたデジタル社会への大変化は人間社会が始まって以来の大きな分水嶺となっているように思います。

そんな中、地域魅力度調査によると、何と一位と二位がふるさと函館と道都札幌が占めている事も、ご一緒に過ごされているご縁と幸せ感を存分に味わっているところです。

今回の記念誌をきっかけに、過去から現在そして未来へ～ともに生き方は違えども、母校で過ごされた素敵な時間とお仲間は不変です。貴重な人生と激動の世の中を重ね合わせ、懐かしさと悲喜こもごもの想いを、是非とも皆様の心の中に付録の冊子として綴りながら、余韻に慕ってみたいと思います。

結びに、2019年度の統合の決定を受け、あらためて貴重な母校のあゆみを見守りながら皆様の益々のご健勝とご多幸をこころよりお祈り申し上げます。ありがとうございました。



平成28年度函館高女・函館女子高・函館西高 つゝじヶ丘同窓会札幌支部総会

～札幌支部創立50周年記念～

日時：平成28年10月22日（土）17時30分～69名参加（2名欠席）

場所：ニューオオタニイン札幌2階東鶴の間（札幌市中央区北2条西1丁目）

【定期総会・懇親会報告】

総会は浅野支部長の挨拶の後、議事に入り平成27年度の決算等が承認されました。また、50周年という歴史の区切りとして前支部長の林 寿正（西高21回生）氏にその功績を讃えて感謝状が贈呈されました。

懇親会では西高・小松校長、同窓会本部・毛利副会長（西高16回生）のご来賓挨拶の後、東京支部・高橋副会長（西高17回生）の祝杯で宴に入りました。会場のスクリーンには西高放送局が制作してくれたDVDが放映され、部活動の様子や授業風景、校舎や周辺の様子が映し出され楽しく拝観することができました。

なお、このDVDや森真沙子氏の著書「函館奉行所始末5 海峡炎ゆ」、校章を型どったクッキーを出席者全員にお持ち帰り頂きました。

宴会では恒例になったビンゴゲームや応援歌・校歌斉唱を行い、応援歌では東京支部の高橋副会長と川瀬氏（西高19回生）のご協力を得ました。

楽しい時間は瞬く間に過ぎ、最後の締めは本部事務局の藤井氏の乾杯でお開きとなりました。

▼受付



▼西高放送部在校生からのビデオメッセージ



▼ビンゴゲーム



▼出席者記念撮影



▼応援歌：川瀬（19回）・堀田（24回）・高橋（17回）



▼二次会





平成28年度札幌支部同窓会記念式典

～式次第～

◎記念講演会 司会：今川かおる（23回生） 16：00～
 「幕末の箱館はこんなに面白い
 ～誰も書かなかった北の奉行所～」
 講師：森 真沙子氏（西高11回生）

◎総会式次第 司会：竹林進（17回生） 17：30～
 1、開会の辞
 2、弔意黙祷
 3、支部長挨拶 支部長：浅野元広（18回生）
 4、議事
 ①平成27年度会計・監査報告
 ②その他
 5、感謝状贈呈

【記念品等】

- ・DVD
- ・森氏の著書
- ・クッキー



◎懇親会 進行：戸根谷法雄（21回生） 17：45～
 1、来賓紹介・挨拶
 函館西高等学校校長 小松信夫様
 つまじヶ丘同窓会副会長 毛利悦子様
 2、祝杯 東京支部副会長 高橋順吉様
 3、ビデオメッセージ西高在校生より
 4、スピーチ
 5、ビンゴゲーム
 6、校歌斉唱（高女・西高）
 7、応援歌応援団長：堀田正英（24回生）
 8、乾杯 つまじヶ丘同窓会事務局 藤井康雄様
 9、閉会の辞
 *写真撮影：竹内直樹（38回生）

◎二次会のご案内 ～語り合いながら楽しいひと時を～ 20：00～
 当ホテル（ニューオータニイン札幌）
 地下1階「バーオークルーム」

～ご出席者～

【ご来賓】	函館西高等学校 校長 小松 信夫 様	東京支部副会長 高橋 順吉 様 (17回生)
	恩 師 小原 孝男 様	講師（作家） 森 真沙子 様 (11回生)
	恩 師 石塚 善朗 様 (3回生)	東京支部 川瀬 俊吉 様 (19回生)
	本部副会長 毛利 悦子 様 (16回生)	東京支部 川田 幸子 様 (20回生)
	本部事務局 藤井 康雄 様 (25回生)	

【会 員】

高女 34回生	守屋 香代子	16回生	對馬 良司	21回生	山内 美雪
1回生	名取 昭二	17回生	竹林 進		石橋 賢治
3回生	山田 公子		竹内 健一		植村 幸司
4回生	堺 ゆき子		藤田 基子		岩崎 守
	小原 弘子		山口 シゲ子		加藤 誠
6回生	井上 忠純		河合 理子		弗田 清吾
	中川 誠		井本 隆祥		戸根谷 法雄
	齋藤 征康		日下部 芳久	22回生	後藤 志信
	白畑 力		蓮井 慶子		伊藤 公子
	加藤 聖子		三浦 昭夫	23回生	山田 裕之
9回生	石子 彭培	18回生	浅野 元広		出島 悠子
10回生	長谷部 和夫		濱野 敏美		今川 かおる
11回生	樋口 哲也		原田 明	24回生	堀田 正英
	米澤 幸子		池田 隆		横山 俊三
	津山 廣行	19回生	成田 明	26回生	渋谷 亘
	久松 由貴子		黒澤 晴一	33回生	橋之口 里加
	高橋 純子		菅井 俊樹		菩提寺 孝幸
15回生	西谷 博明	20回生	川口 安弘	37回生	小山 亜以
16回生	板垣 彰	21回生	林 寿正	38回生	竹内 直樹
	澤野 一彦		山吹 珠江		西川 卓見



平成28年度総会に寄せられましたメッセージ

卒業回生等	氏名	メッセージ
函館西高校長	小松 信夫	50周年誠におめでとうございます。日頃より母校の教育活動に対しまして格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。今後ともよろしくお願い申し上げます。
恩 師	小原 孝男	昭和26年4月から9年間函館西高に奉職しました。函館は私の第二の故郷です。教え子のみなさんは私の身内同然です。総会に出席し、たっぷりと昔話をしたいと思っています。
本部同窓会会長	中山 浩一	出張がぶつかっていて大変申し訳ありません。盛会を記念致します。(9回生)
本部事務局	藤井 康雄	初めての参加となります。つつじヶ丘同窓会事務局員として出させていただきます。宜しくお願いします。(25回生)
高女36回生	近藤 文子	母 近藤文子は2016年7月3日永眠いたしました。ここにご報告いたします。
昭和20高女	田中 愛	申し訳ありません。欠席させて戴きます。皆様のご健勝をお祈りいたしております。
1回生	名取 昭二	札幌支部創立50周年おめでとうございます。私も若干お手伝いさせて戴きましたが真に月日の経つのが早いものと今更のように感じております。現役員の方には真に申し訳ありませんが会の発展と隆盛のためもう一働きをお願いします。
1回生	新井田 治子	殆ど通院が多いですが、未だ一人で食事の支度が出来ることに感謝して生きています。
4回生	佐藤 富雄	体調不良で通院中のため欠席させていただきます。盛会を記念します。
5回生	伊藤 祐輔	難聴が進みご迷惑をかけるようになりましたので残念ながら欠席させていただきます。
6回生	中川 誠	盛会でありますように！！
6回生	白畑 力	50周年記念おめでとうございます。久しぶりに出席します。
6回生	長濱 潤一	同窓会のご案内ありがとうございます。夫 潤一は昨年12月に亡くなりました。
7回生	坂西 雅子	9月の2週目辺りからすっかり秋らしくなっちゃってちょっと肌寒いくらいですね。道産子としては夏のピークが過ぎると何とも言えない淋しさと共に来るべき冬の準備に勤しむ毎日となっております。さて、連絡が非常に遅くなり申し訳ございませんでした。坂西雅子は2015年4月5日に死去しました。50周年という記念の行事に参加できずに天から涙を流すかもしれませんが当日は晴れて元気な皆様と一緒に会することを想像しております。皆様の益々のご健勝を祈りつつ失礼します。
7回生	藤田 治介	アメリカ旅行中で残念です。
7回生	梅田 幸子	ご盛会を祈念いたします。
8回生	亀井 千草子	元気に生活しています。
8回生	田中 正身	ご案内頂きましたが夫(正身)は今年3月21日肺がんで死去しました。生前いろいろとお世話になりまして誠に有難うございました。厚くお礼申し上げます。
9回生	小野塚 直樹	このたびはつつじヶ丘同窓会札幌支部創立50周年記念総会&懇親会のご案内をいただき有難う御座いました。今回の総会&記念講演会には欠席したいと思いますので宜しくお願い申し上げます。
9回生	奥村 泰三	出席出来ず残念です。皆様のご健勝を祈念致します。
10回生	風間 土実	体調悪く出席不可能なので・・・。皆様によりしくお伝えください。
11回生	米澤 幸子	〇〇年ぶりの出席、楽しみにしております。
12回生	前田 和子	佐藤泰志の“オーバーフェンス”同級生と観に行ってきます。ご盛会を祈ります。
12回生	庄司 美千恵	年々物忘れが増していく感じで過ごしております。丁度22日は長男夫婦の都合で19日から孫二人の家へ泊まり込み世話をしなくてはならなくなり、欠席させていただきます。皆様に宜しくお伝えください。
12回生	早藤 弘泰	総会当日他の用事と重なってしまいました。



卒業回生等	氏 名	メッセージ
13 回生	早藤 多賀子	総会当日他の用事と重なってしまいました。ご盛会を祈念しております。
13 回生	菅井 保徳	体調不良のため欠席させていただきます。
13 回生	小川 美代子	函館へ行っていて残念ですが欠席です。講演を聞きたかったです。
13 回生	持館 雅子	大変ご無沙汰致しております。
14 回生	中嶋 恵子	昭和 38 年卒の旧姓（竹端）です。50 周年に出席できず残念です。事務局の方々に感謝申し上げます。
14 回生	渡辺 功	創立 50 周年おめでとうございます。出席できませんが皆さん楽しんでください。
15 回生	西谷 博明	創立 50 周年おめでとうございます。皆様のご健勝をお祈り申し上げます。
15 回生	荒明 洋	盛会を祈念いたします。今回は記念講演会にも関心があり出席したかったのですが残念です。
16 回生	栗塚 亨	幹事の皆さまご苦労様です。10 月は色々と所用があり出席できません。
16 回生	長津 博	盛会でありますことを祈念します。
17 回生	藤田 基子	初めての出席です。宜しくお願い致します。
17 回生	木村 由紀子	竹林さん幹事お疲れ様です。時計台 G で個展をしていました。元気です。
17 回生	秋野 正樹	函館で法要出席のため非常に残念ですが出席できません。
17 回生	井本 隆祥	50 周年記念なので初めて参加いたします。
18 回生	池田 隆	皆様との再会を楽しみにしております。
18 回生	星 秀子	ご盛会をお祈り致します。
18 回生	若林 恭子	今回の同窓会楽しみにしていましたが札幌に不在のため欠席させていただきます。森氏の講演も聴くことが出来ず残念ですが後日、本を読ませていただきます。年齢を重ねるにつれ西高時代の皆さまにお会いできるのが何よりの喜びです。またいろいろお話を聞かせてください。盛会をお祈りいたします。
19 回生	成田 明	札幌支部創立 50 周年おめでとうございます。
19 回生	田村 勉	ご盛会であることをお祈りいたしております。
19 回生	河島 秀治	仕事の都合で参加できません。皆様に宜しくとお伝えください。
21 回生	千龍 季子	つつじヶ丘同窓会札幌支部の皆さまの健康と平安をお祈り申し上げます。
21 回生	山本 有司	森真沙子先生、浅野元広先生の元気なご活躍振りを知って、再任用期間を「あと何か月...」と数えている自分に「喝」を入れることができました。
22 回生	後藤 志信	役員の皆さまいつもお疲れ様です。今年 50 周年とのこと初めて出席させていただきます。
22 回生	伊藤 公子	50 周年記念おめでとうございます。森先生の講演会を楽しみにしております。
22 回生	安田 昌子	(旧姓松本) 今年 5 月に亡くなった実母 (88 歳) もつつじヶ丘同窓生でした。ベッドの上の母に函館の港、教会、元町の絵ハガキで元気づけていました。同窓生の皆様、お元気でお過ごしください。
23 回生	出島 悠子	初めての参加です。宜しく申し上げます。
24 回生	宗倉 千佳子	現在東京に住んでおりますので出席できません。成功をお祈りしています。
25 回生	田中 光子	盛会をお祈り致しております。
27 回生	太田 百合子	役員の皆さまご準備お疲れさまでございます。私用のため出席できません。
33 回生	橋之口 理加	50 周年おめでとうございます。準備の役員の方々お疲れさまです。
33 回生	出雲 武久	仕事のため欠席しますが後輩数名には案内しておきます。
33 回生	石田 知子	予定あり欠席します。ご盛会をお祈りいたします。
33 回生	生瀬 裕司	東京出張あり欠席します。盛会を祈念しております。
33 回生	上川 泉	いつもご案内いただき有難うございます。盛会をお祈りいたします。
37 回生	小山 亜衣	札幌支部創立 50 周年おめでとうございます。また、皆様にお会いできるのを楽しみにしています。



つじヶ丘同窓会札幌支部 50 周年記念事業として、10月22日(土)16時より「ホテルニューオータニイン札幌」において函館西高 11 回生の作家・森 真沙子氏をお招きし講演会を行いました。

講演は、「幕末の箱館はこんなに面白い」と題して、幕末のころの知られざる箱館奉行所の時代背景と関わった当時の人物像等を変興味深くお話されました。講演会には、約 80 名の方が熱心に耳を傾けました。

なお、講演の要旨につきましては次ページに掲載しております。



つじヶ丘同窓会札幌支部創立 50 周年記念講演会 幕末の箱館はこんなに面白い

— 誰も書かなかった北の奉行所 —

講師 森 真沙子氏 (作家・11 回生)

箱館奉行所は西高のすぐそばにあり、あの一帯は各国領事館が集まる箱館の一等地でした。西高の下の八幡坂には八幡様があって、箱館奉行所の祈願所だったので。

だからあの通学路は、奉行所役人によって踏み固められたもの。



森真沙子氏プロフィール

横浜生まれ。小・中・高校を函館で過ごす。奈良女子大学卒業後、雑誌、週刊誌の記者を経て、1979年『バラード・イン・ブルー』で小説現代新人賞受賞。初期にはミステリーやサスペンスを発表、近年は時代小説や歴史伝記作品など執筆のジャンルを広げ活躍。代表作に「東京怪奇地図」(角川書店)、「日本橋物語」(二見書房全10巻)「箱館奉行所始末」(二見時代小説文庫)など。最新作「海峽炎ゆー箱館奉行所始末5」が今年5月に発売。



記念講演会要旨

函館の五稜郭公園に箱館奉行所が再建され、観光としては知られるようになったが、最初にあった場所や奉行所って一体なんなのか、皆知らないのです。西高のすぐそばに、旧奉行所跡という石碑があり、私はしょっちゅうそばを通っていたので知っていたのですが、今の元町公園に箱館奉行所があったのです。箱館奉行所について色々調べてみましたが、古文書や資料はあるけれど、ここを舞台とした読物が全くないことが分かり、奉行所がなぜ知られていないのかということもあり小説を書こうと思いました。

箱館にペリーがやって来て、あわてた幕府が蝦夷地のほとんどを直轄地として、安政元年（1854年）に初めて箱館奉行所が置かれ、ここから蝦夷の幕末が始まっていきます。ネットの人気投票で一番行ってみたい坂が、八幡坂だそうです。ここに箱館奉行所の祈願とか神事を行っていた八幡様があったので、八幡坂という名前がつけました。箱館が始まったのが、このあたりであり、私も含め皆様の青春が始まったのもこの八幡坂だと思います。

北の奉行所に派遣されてきた奉行達は、すご腕揃いの若く格好のいい奉行で、箱館奉行を終えた後は、外国奉行になり海外に使節として派遣されます。第1巻に登場するのが、小出大和守秀実31歳です。元町のあった奉行所を五稜郭に移した奉行ですが、慶応元年（1865年）に、イギリス人がアイヌの墓を暴き、骨を大英博物館に売り飛ばしていた事件が発覚し、イギリス領事館に乗り込み、江戸の英国公使に掛け合い、最後には賠償金を取り、骨を取り戻した奉行です。初めの奉行には、竹内下野守46歳、剛腕な金庫番で、幕府から20万両の金を引き出し、箱館奉行所や弁天砲台を作ります。後に文久遣欧使節としてヨーロッパに渡ります。もう一人、堀織部正利熙36歳、参謀という立場で、奉行所のすぐ近くに、諸術調所という大学を建てます。ここの教授頭が五稜郭を設計し、我が国でストーブを始めて作った蘭学者の武田斐三郎です。諸術調所からは、新島襄を始めとして明治の優秀な人たちを輩出しています。最後に村垣淡路守範正といって、お庭番上がりの奉行で、奉行所の諜報エキスパートとして君臨します。後に遣米使節として、咸臨丸でアメリカに渡ります。

その時護衛で行ったのが勝海舟です。また、蝦夷地に天然痘が蔓延したとき、堀織部と村垣が協力して、アイヌに種痘を施し、蝦夷地から天然痘を撲滅します。

この三代の奉行が土台を築き、その後小出大和守が派遣されて来て、最後の奉行になるのが杉浦兵庫頭誠、この人が箱館奉行所を次の新政府の清水谷公考に渡します。この人の偉いところは、役人たちに、江戸には幕府難民があふれているので、江戸に帰るなどと言って、新政府に引き続き役人として使ってもらうように交渉したことです。

箱館にはいろいろな人が集まり、往来していった。こんなに箱館は面白い町だったのをご存知でしたか、19世紀の半ばの蝦夷地にこれだけの文化が文明が根付き、活性化して輝いていたことを是非とも知っていただきたいと思います。

箱館戦争について、8隻の軍艦を率いて箱館に逃れて来た榎本武揚が新政府のいた五稜郭を乗っ取ります。この時一緒に新政府にやられて、行きようがなくなった人達が沢山乗り込んでいました。

もう一人の立役者、土方歳三もその一人です。初めはこの人がなぜ人気があって観光の目玉なのか疑問でしたが、彼が開陽丸に乗り込むとき言った言葉を読んで、人気の秘密が分かりました。スポーツ用語でいう“グッド・ルーザー”（潔く負ける人）だったと思います。

箱館15年の歴史、奉行によって始められ、その15年の歴史が閉じられる前に、北の空に向かって、土方という彗星が飛んだのではないかと今は思っております。





高女時代の思い出

馬嶋 元子 (高女39回生)

つつじヶ丘同窓会札幌支部設立50周年誠におめでとうございます。

先日、記念誌への投稿依頼があり、どうしてもとのことに、つい身の程知らずに引き受けてしまい旧立高女卒の生き残りとして、私なりに「高女」時代を振り返ってみたいと思います。

入学は昭和17年4月、第6代目校長の奥村季吉先生の時であった。

校訓は

1. 清く優しく強くあれ
1. 質素・勤勉・真剣なれ
1. 礼儀正しく上品なれ
1. 思慮判断を誤らず言動は最も慎むべし

と、理性ある良妻賢母になるようにとの教えであった。朝礼時の歌は奥村校長の作詞である。

入学当時は上級生がとても大人に見えたものだ。

先生のお顔も次々と目に浮かぶ。函館弁丸出しの田辺三重松先生、お作法の東先生からは函館山に春一番先に咲く白い花は「こぶし」と教えていただいた。授業開始ベルが鳴り終ると同時に教室に来られる塚原先生、国語の荒井源司先生、後年は「昭和万葉集（昭和54年発行）」の第六巻に『腹赤く夕日に輝いて海豚飛ぶ、津軽の海をまた見ざるべし』の一首が残されている。音楽の根上先生は厳しい中にも時折名曲を弾いて下さり基礎から教えていただいた。戦後昭和21年の音楽会は強い印象としてここに残っている。

学年が進むにつれ戦争も激しくなり、学徒動員令で援農、工場等それぞれ各クラスが動員され、先生も動員先に来られたり、下級生から慰問文が届いたり…。昭和20年8月終戦を迎え学校生活に戻ることが出来た。一変した世の中に戸惑いつつも自由に学べる喜びは大きかった。ちょうど激動の時代と言われるときに在席し「たくましい生徒」と百年記念号に記されている。

「学制改革令」によって同時入学した者でも38・39回生に分かれていた。翌年全市募集の専攻科が出来て、担任の広川正治先生と充実した一年を送ることが出来たのは本当に幸いなことだった。授業内容も単位制で全体と選択科目の授業、選択科目に依っては登校時間もそれぞれのことがあった。その折の余談を一つ、次の授業には未だ間があるしと、友人と二人で「早めし」をしたことがある。何故かその時に限って広川先生が教室に来られ双方ビックリ「どうぞお召し上がり

ください」と早々に出て行かれ、我々もすぐお弁当を仕まい顔を見合わせた。あれもこれも沢山の思い出を残し卒業、いつの間にか70年もの月日が流れた。

校名も学制改革令で函館西高等学校となり「志高く」の校訓のもと、誇りを持ち希望溢れる頼もしい後輩が長い伝統を引き継いでいる。文武両道を地でいく全国的な活躍もめざましい。母校の発展に乾杯！！四季折々の美しい函館山、目の前には函館港、遠くは横津岳を望むこの上ない環境にある函館西高等学校。立派な先生にも恵まれ平和な時代に学生生活を送られたことは本当に幸いなことと思う。

その函館西高等学校の「つつじヶ丘同窓会札幌支部」も50周年を迎えるに至った。

古い記憶では各回ごと同期生に同窓会入会の賛否を問ひ入会の返事をもらったと思う。当時は子育て中のこともあって、札幌と周辺に住む同期生が昼間に集まる同期会への出席が多かった。塚原先生、藤田先生、森敦子先生、吉田覚三先生が出席してくれた。

同窓会の方は年々先細りで残念に思う。齢と共に夜の出席もままならずメッセージのみとなってしまった。第1回目は「すみれ会館」だったか？多数の出席者で盛大に行われた。その後山口支部長、名取支部長、林支部長の折何度か出席させて頂いた。歴代の支部長はじめ幹事の方々のご苦勞は並大抵ではないと思う。

長い歴史の伝統校故の底力か…。その熱意に対しても縦横のつながりを大切に一人でも多く、せめてメッセージでも参加できたら良いと思う。

今後ますますのご発展を祈りつつ…。





同窓会と私

伊藤 祐輔 (西高5回生)

同窓会でまず思い出されるのは「五西会」のことです。

卒業してから数年後、同期生の親が経営する松風町の中華料理店の二階を借りて、最初の5回生の会合が持たれ、その席上今後この会を「五西会」と命名すると宣言されました。参加者一同、発案者から「五西会」は「御盛会」にかけたものと知り大いに賛同したものです。

北島三郎(大野さん)は最初のうちは参加していませんでしたが、歌が出はじめるようになると顔をみせるようになりました。みんなに「なんか歌えや」と催促されても「師匠に止められていますから」と遠慮していました。「函館の女」が大ヒットしたときの「五西会」では催促されて「それでは・・・」とシブシブながら歌ってくれました。歌が終わって見回すと、驚いたことには私たちの会場の両隣・廊下の仕切りがはずされて、そこには見知らぬ人たちが座っていて盛んに拍手をしていました。

大野さんについて感心したのは、席上いくら酒とタバコをすすめられても断って、サイダーしか飲みませんでした。しかも、そのサイダーは栓を抜いて30分以上放置して置いて喉を刺激する炭酸を抜いたものだそうです。

私は札幌転勤後も数回出席しましたが、その後多忙も重なり疎遠となってしまいました。

札幌支部にかかわるようになったのは10年ほど前からです。当時私は札幌支部の総会の案内が来ても参加することはありませんでしたが、江別のボランティア団体の役員をしていたときの知人が札幌西高の卒業生で同窓会の役員をしていていつもイキイキとしていました。札幌西高OBオーケストラのPRにも熱心で何回かチケットを買わされたりしました。また同窓会の会報の担当をされており、その紙面を見せてくれ編集の苦労話やヒントを教えてくださいました。

それである程度自信をつけた私は、札幌支部の総会に参加して当時の支部長の林さんや幹事の菩提寺さんの協力を得ながら数年間、会報編集を担当させていただくことになりました。

その時の思い出としては、毎回出稿してくださる庁立高女

時代の先輩のありがたさとその先輩の卒業アルバムの表紙の卒業年が西暦や昭和ではなく、なんと紀元二千六百年と印刷されていて歴史の重みをひしひしと感じたことでした。

私の書いた記事としては、同期生の故石原正さんが生前ハガキで何回も「NHKの教育TVでオレの特集をやるからみてくれ」といっていた「鳥の目を持った画家 石原正」がありました。これの編集にあたっては菩提寺さんがその作品のコピーを見つけてくれて一緒に掲載することが出来ました。菩提寺さんは忙しい勤務の間にわざわざ野幌まで出向いていただき編集のレイアウトを喫茶店でしたこともあります。

また前支部長の林さんのお店を夜間お借りしての会報の発送準備やそのあとの飲み会や札幌ドームでの「稲葉ジャンプ」など役員をやったおかげで味わった楽しみはたくさんあり感謝しています。

その後、手術を受けることになり編集の仕事を後進に譲りましたが、最近では難聴がひどくなり他人に迷惑をかける状態ですので会合に出席するのを控えています。久しぶりに原稿の依頼があり喜んで書かせていただいた次第です。

最後に函館の思い出ですが、高校時代は市電谷地頭終点から真っ直ぐ山側に登った突き当りの石垣の上にあった鉄道官舎に住んでいました。私の通学路は谷地頭～函館公園～護国神社～ガンガン寺～西高へと続く道でしたが今でも私の徒歩でかよった通学路は函館一ではなかったかと自負しています。



▲谷地頭電停

◎卒業生数の推移

【北海道庁立函館高等女学校】

期	卒業年	卒業生数	
		全日制	定時制
1	明 42	76	
2	明 43	71	
3	明 44	72	
4	明 45	78	
5	大 2	85	
6	大 3	75	
7	大 4	87	
8	大 5	71	
9	大 6	75	
10	大 7	92	
11	大 8	89	
12	大 9	86	
13	大 10	79	
14	大 11	89	
15	大 12	92	
16	大 13	130	
17	大 14	144	
18	大 15	238	
19	昭 2	227	
20	昭 3	222	
21	昭 4	210	
22	昭 5	215	
23	昭 6	211	
24	昭 7	217	
25	昭 8	218	
26	昭 9	229	
27	昭 10	213	
28	昭 11	226	
29	昭 12	247	
30	昭 13	227	
31	昭 14	256	
32	昭 15	239	
33	昭 16	249	
34	昭 17	231	
35	昭 18	248	
36	昭 19	269	
37	昭 20	274	
38	昭 21	209	
39	昭 22	93	
40	昭 23	208	
41	昭 24	146	
合 計		6,813	

【北海道立函館西高等学校】

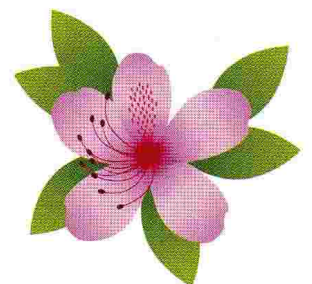
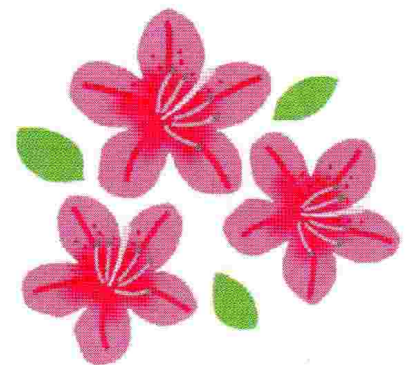
期	卒業年	卒業生数		計
		全日制	定時制	
1	昭 26	303	13	316
2	昭 27	380	33	413
3	昭 28	371	30	401
4	昭 29	377	81	458
5	昭 30	361	77	438
6	昭 31	360	81	441
7	昭 32	361	71	432
8	昭 33	372	56	428
9	昭 34	385	70	455
10	昭 35	429	60	489
11	昭 36	471	89	560
12	昭 37	466	68	534
13	昭 38	425	60	485
14	昭 39	440	51	491
15	昭 40	443	48	491
16	昭 41	503	67	570
17	昭 42	495	50	545
18	昭 43	526	59	585
19	昭 44	507	79	586
20	昭 45	483	71	554
21	昭 46	423	84	507
22	昭 47	363	58	421
23	昭 48	353	53	406
24	昭 49	353	56	409
25	昭 50	355	46	401
26	昭 51	345	27	372
27	昭 52	353	36	389
28	昭 53	365	56	421
29	昭 54	358	25	383
30	昭 55	362	25	387
31	昭 56	355	26	381
32	昭 57	357	20	377
33	昭 58	362	22	384
34	昭 59	348	23	371
35	昭 60	357	26	383
36	昭 61	351	17	368
37	昭 62	359	14	373
38	昭 63	352	14	366
39	平 元	355	12	367
40	平 2	354	17	371
41	平 3	402	18	420
42	平 4	351	12	363
43	平 5	348	13	361
44	平 6	353	4	357
45	平 7	313	6	319
46	平 8	316		316
47	平 9	312		312
48	平 10	312		312
49	平 11	271		271

期	卒業年	卒業生数		計
		全日制	定時制	
50	平 12	267		267
51	平 13	272		272
52	平 14	234		234
53	平 15	223		223
54	平 16	232		232
55	平 17	194		194
56	平 18	197		197
57	平 19	188		188
58	平 20	190		190
59	平 21	194		194
60	平 22	199		199
61	平 23	193		193
62	平 24	203		203
63	平 25	200		200
64	平 26	158		158
65	平 27	155		155
66	平 28	155		155
合 計		22,070	1,924	23,994

総 合 計	卒業生数		計
	全日制	定時制	
	29,085	1,924	31,009

【北海道立函館女子高等学校】

期	卒業年	卒業生数
1	昭 24	75
2	昭 25	127
合 計		202



◎つゝじヶ丘同窓会札幌支部の実施記録

《設立準備会》

年	月	日	会合名	会 場	内 容	参 加 者
昭和41	1	27	設立準備会	島田宅	本部よりの再建依頼受け相談	今井、坂井
	1	29			塚原先生より資料いただき指導受ける	島田、坂井
	2	2		河野宅	支部長選定＝児玉さんにお願ひする事になる	島田、坂井、今井、小笠原
	2	9		児玉宅	山崎猪作先生同道のうえ児玉宅に伺い支部長内諾得る	山崎猪作先生、島田、今井、坂井
					会員住所を調べ各回から1-2名の幹事依頼	島田、今井、坂井
	5	26		㊤食堂	幹事会開催…46名出席、規約、維持費問題、総会日程を決定	

《同窓会総会》

年	月	日	開始時間	会合名	会 場	会 費 (維持費含)	内 容	来賓	参加者	主 要 役 員			維持費
										支部長	副支部長	事務局長(幹事長)	
41	6	19		第1回 総会	すみれ会館		当番：高女27・29回生、西高8回生(田中正身)		145	児玉 潤(高女13)			
42	7	9	11:30	第2回 総会	神宮閣		議事：71歳以上を招待者とする。会員不幸の場合香典千円。 次年度総会日程を決定。	9	121	児玉 潤(高女13)			
43	6	23	11:00	第3回 総会	ホテル丸惣	1,400	役員改選 当番幹事：高女21・22回生、西高3・4・5回生 役員任期を2年として総会当日翌々年総会当日と決定	11	64	児玉 潤(高女13)	坂井イソ(高女17)・小笠原紀美子(高女21) 名取昭二(西1)	山田ヨシ(高女)・川瀬みち子(西)	@200
44	7	6	11:00	第4回 総会	ホテル丸惣	1,400	当番幹事：高女23・24回生、西高6・7・8回生	9	68	児玉 潤(高女13)	坂井イソ(高女17)・小笠原紀美子(高女21) 名取昭二(西1)	山田ヨシ(高女)・川瀬みち子(西)	@200
45	7	5	11:30	第5回 総会	清楓荘	1,500	役員改選 当番幹事：高女25・26回生 スライド映写…恩師のスナップ写真、西高付近の近況	11	62	児玉 潤(高女13)	坂井イソ(高女17)・小笠原紀美子(高女21) 田中正身(西8)		@200
46	7	4	11:30	第6回 総会	金市館	1,500	当番幹事：高女27・29回生、西高8回生 バンド演奏	9	95	児玉 潤(高女13)	坂井イソ(高女17)・小笠原紀美子(高女21) 和泉英二郎(西2)		@200
47	7	2	11:20	第7回 総会	金市館	1,800	当番幹事：高女31回生	10	63	児玉 潤(高女13)			@200
48	7	1	11:30	第8回 総会	第一ホテル	2,500	当番幹事：高女32回生	17	57	児玉 潤(高女13)			@200
49	7	7	12:00	第9回 総会	グランドホテル	3,200	役員改選 当番幹事：高女33回生	14	116	河野敏子(高女19)	高城八重(高女20) 相原相一(西1)・後藤恭子(西1)		@300
50	7	7		第10回 総会	ビール園	3,000	当番幹事：高女34回生	11	78	河野敏子(高女19)	高城八重(高女20)・伊藤欣子(西2)		@300
51	7	4	11:30	第11回 総会	平安閣	3,300	当番幹事：高女35回生	15	114	河野敏子(高女19)	高城八重(高女20)・小笠原和(高女37)		@300
52	7	10	12:45	第12回 総会	厚生年金会館		関西支部長寺村さん参加 当番幹事：高女36回生、西4回生	14	107	河野敏子(高女19)	高城八重(高女20)・小笠原和(高女37) 浅利精子(西2)		@500
53	7	9	12:30	第13回 総会	共済サロン	4,000	事務局を西5坂井氏(北海高校)に置く。 当番幹事：高女37回生、西5回生	5	127	河野敏子(高女19)			@500
54	7	1	12:30	第14回 総会	アカシヤホテル	4,500	当番幹事：高女38・39回生、西6回生			河野敏子(高女19)	山口英子(高女30)・浅利精子(西2)		@500
55	7	20	12:30	第15回 総会	グランドホテル	5,500	小樽支部(50名)と合併 当番幹事：高女40・41回生、西7・8回生 学生マンドリンクラブ演奏	7	104	河野敏子(高女19)	山口英子(高女30)・浅利精子(西2)		@500
56	7	3	17:30	第16回 総会	センチュリー ロイヤルホテル	5,500	当番幹事：高女26回生、西1・8・11回生	6	86	河野敏子(高女19)	山口英子(高女30)・浅利精子(西2)		@500 270
57	7	23		第17回 総会	札幌東急ホテル	6,000	当番幹事：高女27回生、西11回生			山口英子(高女30)	浅利精子(西2)		@1,000 45
58	7	22		第18回 総会	札幌東急ホテル					山口英子(高女30)	浅利精子(西2)		@1,000
59	7	13	18:00	第19回 総会	札幌東急ホテル				108	山口英子(高女30)	浅利精子(西2)		@1,000
60	7	26	18:00	第20回 総会	札幌東急ホテル				71	山口英子(高女30)	浅利精子(西2)		@1,000
61	7	11	18:00	第21回 総会	札幌東急ホテル				84	山口英子(高女30)	浅利精子(西2)		@1,000
62	7	24	18:00	第22回 総会	札幌東急ホテル				65	山口英子(高女30)	浅利精子(西2)		@1,000
63	8	24	18:00	第23回 総会	札幌東急ホテル				69	山口英子(高女30)	浅利精子(西2)		@1,000
平成元	9	12	18:00	第24回 総会	札幌東急ホテル					山口英子(高女30)	浅利精子(西2)		@1,000



年	月	日	開始時間	会合名	会場	会費 (維持費合)	内 容	来賓	参加者	主 要 役 員			維持費
										支部長	副支部長	事務局長 (幹事長)	
2	9	7	18:00	第25回 総会	札幌東急ホテル					山口英子 (高女30)	浅利精子 (西2)		@1,000
3	9	20	18:00	第26回 総会	全日空ホテル					山口英子 (高女30)	浅利精子 (西2)		@1,000
4	10	21	18:00	第27回 総会	札幌東急ホテル	6,500		6	78	山口英子 (高女30)	浅利精子 (西2)		@1,000 124
5	10	28	18:00	第28回 総会	札幌東急ホテル	6,500	ビデオ放映「つつじヶ丘、思い新たに」	5	74	名取昭二 (西1)	渡部千鶴子 (高女32) 浅利精子 (西2)・浅野元広 (西18)	坂井祥仁 (西5)	@1,000 185
6	10	21	18:00	第29回 総会	札幌東急ホテル	6,500		6	62	名取昭二 (西1)	渡部千鶴子 (高女32) 浅利精子 (西2)・浅野元広 (西18)	坂井祥仁 (西5)	@1,000 167
7	9	26	18:00	第30回 総会	札幌東急ホテル	6,500		2	66	名取昭二 (西1)	渡部千鶴子 (高女32) 浅利精子 (西2)・浅野元広 (西18)	坂井祥仁 (西5)	@1,000
8	10	25	18:00	第31回 総会	札幌東急ホテル					名取昭二 (西1)		坂井祥仁 (西5)	@1,000
9	9	5	18:00	第32回 総会	札幌東急ホテル					名取昭二 (西1)		坂井祥仁 (西5)	@1,000
10	9	22	18:00	第33回 総会	札幌東急ホテル	6,500	役員改選	3	58	名取昭二 (西1)	渡部千鶴子 (高女32)・浅利精子 (西2) 帰家雄治 (西7)・浅野元広 (西18)	坂井祥仁 (西5)	@1,000
11	9	29	18:00	第34回 総会	札幌東急ホテル					名取昭二 (西1)	渡部千鶴子 (高女32)・浅利精子 (西2) 帰家雄治 (西7)・浅野元広 (西18)	坂井祥仁 (西5)	@1,500
12	9	20	18:00	第35回 総会	札幌東急ホテル	7,000		4	70	名取昭二 (西1)	渡部千鶴子 (高女32)・浅利精子 (西2) 帰家雄治 (西7)・浅野元広 (西18)	坂井祥仁 (西5)	@1,500
13	9	28	18:00	第36回 総会	札幌東急ホテル	7,000		3	61	名取昭二 (西1)	渡部千鶴子 (高女32)・浅利精子 (西2) 帰家雄治 (西7)・浅野元広 (西18)	坂井祥仁 (西5)	@1,500 315
14	10	3	18:00	第37回 総会	札幌ガーデンパレス	6,500	役員改選	3	48	坂井祥仁 (西5)	帰家雄治 (西7)・梅田幸子 (西7) 佐藤禮子 (西7)・浅野元広 (西18)	井上忠純 (西6)	@1,500 166
15	10	10	18:00	第38回 総会	札幌ガーデンパレス	6,500	支部規約改定 カラオケ大会/じゃんけん大会/ビンゴゲーム	1	26	坂井祥仁 (西5)	帰家雄治 (西7)・梅田幸子 (西7) 佐藤禮子 (西7)・浅野元広 (西18)	井上忠純 (西6)	@1,500 54
16	10	8	18:00	第39回 総会	札幌ガーデンパレス	6,500	第1回返信はがきのコメント掲載開始	3	20	坂井祥仁 (西5)	加藤聖子 (西6)	井上忠純 (西6)	@1,500 58
17	10	14	18:00	第40回 総会	札幌ガーデンパレス	6,500	役員改選 大道芸ジャグリング/じゃんけん大会/ビンゴゲーム	2	32	林寿正 (西21)	加藤聖子 (西6)	井上忠純 (西6)	@1,500 55
18	10	13	18:00	第41回 総会	札幌ガーデンパレス	6,500	男性合唱団「ディーセント・フェロウズ」 じゃんけん大会/ビンゴゲーム	3	23	林寿正 (西21)	加藤聖子 (西6)	井上忠純 (西6)	@1,500 45
19	10	12	18:30	第42回 総会	札幌ガーデンパレス	6,500	役員改選/規約改定 ギター演奏…佐藤寿一	3	49	林寿正 (西21)	加藤聖子 (西6)	井上忠純 (西6)	@1,500 120
20	10	10	18:30	第43回 総会	札幌第一ホテル	6,500	タンゴ演奏 送迎バス運行	4	60	林寿正 (西21)	久保勝哉 (西10)・今川かおる (西23)	菩提寺孝幸 (西33)	@1,500 112
21	10	9	18:30	第44回 総会	札幌第一ホテル	6,500	役員改選 函館港祭り音頭踊り アンケートの実施	1	48	林寿正 (西21)	久保勝哉 (西10)・今川かおる (西23)	菩提寺孝幸 (西33)	@1,500 96
22	10	16	16:00	第45回 総会	きょうさいサロン	6,500	映画「海炭市叙景」予告編上映	3	50	林寿正 (西21)	久保勝哉 (西10)・今川かおる (西23)	菩提寺孝幸 (西33)	@1,500 102
23	10	15	16:00	第46回 総会	きょうさいサロン	6,500	役員改選/伊藤祐輔 (5回生)氏が「西高はるか」作詞・作曲 白楊ヶ丘同窓会、青雲同窓会、函館北同窓会各支部長来席	7	47	林寿正 (西21)	今川かおる (西23)・山田裕之 (西23)	菩提寺孝幸 (西33)	@1,500 103
24	10	20	16:00	第47回 総会	きょうさいサロン	6,500	歌唱 山口シゲ子 (17回生) 西高写真部作品展示	4	54	林寿正 (西21)	今川かおる (西23)	菩提寺孝幸 (西33)	決算期 変更
25	10	19	16:00	第48回 総会	京王プラザホテル	6,500	役員改選 津軽三味線…山田三弦会 西高書道部作品展示	5	32	林寿正 (西21)	今川かおる (西23)	菩提寺孝幸 (西33)	@1,500 203
26	11	8	17:00	第49回 総会	札幌アспенホテル	6,500	ビンゴゲーム	4	38	浅野元広 (西18)	今川かおる (西23)	菩提寺孝幸 (西33)	@1,500 154
27	11	7	17:00	第50回 総会	札幌アспенホテル	6,500	役員改選 ビンゴゲーム	3	33	浅野元広 (西18)	今川かおる (西23)	菩提寺孝幸 (西33)	@1,500 156
28	10	22	17:00	第51回 総会	ニューオータニ イン札幌	7,000	創設50周年記念および記念誌を発刊 記念講演会…森 真沙子「知られざる北の奉行所」 総会出席者に「函館奉行所始末5」を贈呈	10	59	浅野元広 (西18)	對馬良司 (西16)・竹林進 (西17)		@1,500





〈函館の歴史略年表〉

西暦	年号	出来事
1965	昭和40年	道南青年の家（旧ソ連領事館）開設。高砂町に函館大学開校。
1966	昭和41年	市立函館博物館完成。港まつりを8月開催に変更。銭亀沢村、函館市と合併。
1967	昭和42年	NHK函館放送局、千歳町の新庁舎に移転。
1968	昭和43年	十勝沖地震。函館市旗制定。
1969	昭和44年	丸井デパート本町に新築移転。
1970	昭和45年	函館市民会館開館。湯川町に熱帯植物園開園。
1971	昭和46年	YS11型機ばんだい号横津岳に墜落死者68名。青函トンネル本工事起工式。太刀川住宅店舗が国の重要文化財に指定
1972	昭和47年	市制施行50周年を記念し、ソ連との友好親善・経済交流の促進を目指し「函館市民の船」ナホトカ向け出航。
1973	昭和48年	亀田市、函館市と合併、人口30万人。
1974	昭和49年	函館市南部下水終末処理場運転開始。旧函館区公会堂が国の重要文化財に指定。
1975	昭和50年	市民体育館開館。中央卸売市場開場。
1976	昭和51年	ミグ25戦闘機が函館空港に強行着陸、パイロットのベレンコ中尉アメリカに亡命。
1977	昭和52年	「函館市民憲章」制定。
1978	昭和53年	函館公園開園100周年式典挙行。函館空港2,500m滑走路完成。
1979	昭和54年	旧イギリス領事館が函館市有形文化財に指定。
1980	昭和55年	緑の島建設開始。夜間急病センター白鳥町に独立新設。
1981	昭和56年	函館港まつりにおいて「いか踊り」初披露。
1982	昭和57年	函館市役所新庁舎完成。元町公園開園。カナダのハリファックス市と国際姉妹都市提携。
1983	昭和58年	函館ハリストス正教会が国の重要文化財に指定。旧函館区公会堂一般公開。道立稜北高校開校。
1984	昭和59年	「テクノポリス函館」に地域指定される。核兵器廃絶平和都市宣言。
1985	昭和60年	東京事務所開設。旧北海道庁函館支庁庁舎が北海道有形文化財に指定。
1986	昭和61年	道立函館美術館開館。道立工業技術センター完成。
1987	昭和62年	ヤマガラを市の鳥として制定。
1988	昭和63年	函館山展望台完成。大型ロープウェイ運行開始。青函トンネル開通し青函連絡船廃止。
1989	平成元年	青森市とツインシティ提携。国際観光都市宣言。元町・末広町が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定。
1990	平成2年	函館市市民栄誉賞、第1号に俳優、益田キートンさん受賞。
1991	平成3年	旧青函連絡船「摩周丸」がメモリアルシップとして開館。最後の北洋船団出漁。第1回夜景の日。
1992	平成4年	ロシアのウラジオストック市、オーストラリアのレイク・マコーリー市と姉妹都市提携。
1993	平成5年	北海道南西沖地震発生。函館文学館開館。
1994	平成6年	函館市総合福祉センター開場。ロシア極東国立総合大学函館校開校。
1995	平成7年	函館市写真歴史館開館。全日空857便ハイジャック、函館空港着陸。第1回函館港イルミネーション映画祭開催。
1996	平成8年	緑の島一部開放。函館市市民栄誉賞にプロボクサー山口圭司さん受賞。
1997	平成9年	市民栄誉賞に作家辻仁成氏受賞。ユジノ・サハリンスク市と姉妹都市提携。五島軒本店旧館が国の有形文化財に登録。
1998	平成10年	函館市芸術ホール開館。
1999	平成11年	函館市市民栄誉賞に歌手北島三郎さん、ロックグループGLAY受賞。
2000	平成12年	公立ほこだて未来大学開校。市立函館病院、港町に新築開院。
2001	平成13年	函館市市民栄誉賞に将棋棋士二上達也さん受賞。中国・天津市と友好交流都市提携。香雪園、名勝に指定。
2002	平成14年	市制施行80周年式典挙行。第1回函館塩ラーメンサミット開催。
2003	平成15年	函館～江差自動車道一部区間供用開始。JR函館新駅舎オープン。市営バス、函館バスに完全移管。
2004	平成16年	戸井町・恵山町・楸法華村・南茅部町が函館市に編入合併。ペリー来航150周年記念事業開催。西部地区バル街開催。
2005	平成17年	「中核市」に移行。函館市中央図書館開館。函館駅前広場完成。
2006	平成18年	新五稜郭タワー完成。函館公園が国の記念物（名勝地）に登録。
2007	平成19年	中空土偶が北海道内初となる「国宝」に指定。大谷派本願寺函館別院が国の重要文化財に指定。
2008	平成20年	函館市市民栄誉賞に作曲家廣瀬量平さん受賞。
2009	平成21年	函館開港150周年記念事業開催。『HAKODATE黒船』初開催。
2010	平成22年	箱館奉行所復元して公開。
2011	平成23年	東日本大震災発生。大韓民国の高陽市と姉妹都市提携。函館市縄文文化交流センターオープン。
2012	平成24年	高龍寺が国の有形文化財に登録。観測史上最大の豪雪。
2013	平成25年	緑の島にて『GLAY Special Live 2013 in HAKODATE GLORIOUS MILLION DOLLAR NIGHT Vol.1』開催。
2014	平成26年	市域全域が「過疎地域」に指定。函館市水産・海洋総合研究センター開設。
2015	平成27年	函館新外環状道路函館～赤川間が開通。函館アリーナ完成。
2016	平成28年	北海道新幹線・道南いさりび鉄道開業。



〈札幌の歴史略年表〉

西暦	年号	出来事
1965	昭和40年	社会福祉センター開館。
1966	昭和41年	市立図書館、中央体育館新築開館。
1967	昭和42年	手稲町と合併。
1968	昭和43年	北海道百年記念式典・札幌市創建百年記念式典開催。北海道大博覧会開催。
1969	昭和44年	定山溪鉄道の営業廃止。
1970	昭和45年	時計台が重要文化財に指定。人口100万人突破。大倉山ジャンプ競技場完成。
1971	昭和46年	札幌地下街、市役所新庁舎完成。市営地下鉄南北線（北24条～真駒内）開通。北海道開拓記念館開館。
1972	昭和47年	第11回冬季オリンピック大会開催。政令指定都市へ移行し、7区役所開設。ミュンヘン市と姉妹都市提携。
1973	昭和48年	札幌資料館開館。豊平峡ダム完成。小樽市の一部編入。
1974	昭和49年	丘珠獅子舞を札幌市無形文化財に指定。豊平保健所完成により1区1保健所実現。
1975	昭和50年	身障者福祉モデル都市指定。70歳以上老人の市電・市バス無料制実施。
1976	昭和51年	市営地下鉄東西線（琴似～白石）開通。
1977	昭和52年	教育文化会館、道立近代美術館開館。札幌市消費者センター開設。札幌村郷土記念館開設。
1978	昭和53年	地下鉄南北線（北24条～麻生）開通。時計台創建百年記念行事開催。札幌市創建110年記念行事開催。
1979	昭和54年	神戸市の人口を抜く。緑のセンター開設。こども図書館開設。水質試験場完成。
1980	昭和55年	中華人民共和国瀋陽市と友好都市提携。冬のスポーツ博物館開館。
1981	昭和56年	青少年科学館開館。婦人文化センターオープン。老人福祉センター完成。
1982	昭和57年	地下鉄東西線（白石～新さっぽろ）開通。北方都市会議（第1回）開催。ていねプールオープン。
1983	昭和58年	百合が原公園開園。北海道開拓の村オープン。京都市の人口を抜く。
1984	昭和59年	札幌国際見本市開催。豊平さけ科学館開館。人口150万人突破。
1985	昭和60年	札幌市スノートピア計画策定。駒岡清掃工場操業開始。
1986	昭和61年	第1回アジア冬季競技大会開催。'86さっぽろ花と緑の博覧会（全国都市緑化フェア）開催。
1987	昭和62年	スパイクタイヤ使用規制条例制定。全国高校総体開催。
1988	昭和63年	札幌創建120年。函館本線（琴似～苗穂間）高架開通。地下鉄東豊線（栄町～豊水すすきの）開通。
1989	平成元年	白石区から厚別区、西区から手稲区が分区。第44回国民体育大会（はまなす国体）開催。
1990	平成2年	第1回パシフィック・ミュージック・フェスティバル開催。ノボシビルスク市と姉妹都市提携。
1991	平成3年	札幌ユニバーシアード冬季大会開催。札幌市立高等専門学校開校。新中央図書館開館。
1992	平成4年	第1回YOSAKOIソーラン祭り開催。平和都市宣言。
1993	平成5年	札幌市中央健康づくりセンターオープン。札幌市児童福祉総合センターオープン。
1994	平成6年	市営地下鉄東豊線（豊水すすきの～福住）開通。
1995	平成7年	「さとらんど」オープン。市立札幌病院移転新築。
1996	平成8年	JFL「コンサドーレ札幌」誕生。札幌国際交流館開館。
1997	平成9年	豊平区から清田区が分区。札幌コンサートホール（Kitara）オープン。
1998	平成10年	札幌市創建130年。定山溪自然の村オープン。時計台新装オープン。
1999	平成11年	地下鉄東西線（琴似～宮の沢）開通。札幌線（学園都市線）高架開通。地下街アピア開業。
2000	平成12年	札幌駅南口広場完成。ウインタースポーツミュージアム、生涯学習総合センターオープン。
2001	平成13年	札幌ドーム（HIROBA）オープン。環状通エルムトンネル開通。
2002	平成14年	2002FIFAワールドカップ開催。第6回DPI（障害者インターナショナル）世界会議開催。
2003	平成15年	札幌コンベンションセンターオープン。モエレ沼公園「ガラスのピラミッド」完成。
2004	平成16年	北海道日本ハムファイターズ誕生。市営バス事業廃止。モエレ山の完成。
2005	平成17年	モエレ沼公園グランドオープン。視聴覚障がい者情報センターオープン。
2006	平成18年	札幌市立大学開学。第1回札幌国際短編映画祭開催。北海道日本ハムファイターズ日本一。
2007	平成19年	FISノルディックスキー世界選手権札幌大会の開催。北海道日本ハムファイターズパリーグ連覇。
2008	平成20年	札幌市創建140年。「環境首都・札幌」宣言。「さっぽろオータムフェスト2008」開催。
2009	平成21年	家庭ゴミ有料化開始。創成川通アンダーパス開通。「ねりんピック北海道・札幌2009」開催。
2010	平成22年	APEC貿易担当大臣会合開催。韓国太田広域市と姉妹都市提携。
2011	平成23年	札幌駅前通地下歩行空間開通。創成川公園オープン。円山動物園「は虫類・両生類館」オープン。
2012	平成24年	札幌・ミュンヘン姉妹都市提携40周年記念式典。円山動物園「わくわくアジアゾーン」オープン。
2013	平成25年	中央図書館に「元気カフェ本の森」オープン。市電に新型低床車両「ポラリス」導入。公文書館開館。
2014	平成26年	札幌市北3条広場（アカブラ）オープン。札幌国際芸術祭2014開催。
2015	平成27年	札幌市路面電車ループ化開業。札幌市立開成中等教育学校開校。
2016	平成28年	円山動物園「アフリカゾーン」オープン。



◎本校および部活動の歩み年表

西 暦	年 号	記 事 ・ 出 来 事
1905	明治38年	「北海道庁立函館高等女学校」開校…元町51・52番地
1907	明治40年	類焼により校舎全焼
1908	明治41年	本校舎竣工
1909	明治42年	第1回卒業式を挙行 本科卒業生75名
1915	大正4年	本校10周年記念式典挙行
1925	大正14年	火災のため校舎全焼
1927	昭和2年	新校舎落成
1935	昭和10年	創立30周年記念式典挙行
1947	昭和22年	文士一行講演会…講師 亀井勝一郎・中村光夫・嘉治隆一・河上徹太郎・久米正雄
1948	昭和23年	学制改革により「北海道立函館女子高等学校」と改称
1950	昭和25年	学区制男女共学の新制度になり「北海道函館西高等学校」として発足
1951	昭和26年	校歌制定 西高第1回卒業式卒業生303名
1952	昭和27年	西高野球部甲子園選抜大会に出場 全国高校野球選手権大会に出場準々決勝で15回成田に1対4で力尽きる ヨット部第7回国民体育大会ヨット競技で2位 「西高新聞」道南高校新聞コンクールで2つの栄冠を獲得
1955	昭和30年	創立50周年記念式典挙行
1957	昭和32年	高体連全道大会にて体操部男子徒手総合で優勝
1960	昭和35年	吹奏楽全道コンクールで優勝し全国大会出場
1961	昭和36年	全国高校ヨット選手権大会で女子3位
1962	昭和37年	全国ヨット大会でヨット部2位入賞 NHK合唱コンクールにて第2位入賞
1963	昭和38年	全国ヨット大会でヨット部女子4位 第7回全道高等学校新聞大会及び新聞コンクールで「西高新聞・51号」入賞
1965	昭和40年	愛1回卓球高校協会加盟団体対抗戦で卓球部優勝 ラグビー部第45回全国高等学校ラグビー選手権全道大会優勝…初の全国大会に
1966	昭和41年	2年佐藤泰志君有島武郎青少年文学賞優秀賞受賞
1967	昭和42年	ヨット部高体連全道ヨット大会女子優勝…全国大会へ ヨット部国体全道大会男子S級優勝・女子準優勝 吹奏楽部全道高校吹奏楽コンクールで優勝…全国大会へ 地区高校新聞コンクールで「西高新聞」が優勝 3年佐藤泰志・佐々木進市両君有島武郎青少年文学賞優秀賞受賞
1968	昭和43年	ヨット部・庭球部全国大会に出場 ラグビー部NHK杯全国大会決勝で岩手県選抜チームに快勝 ラグビー部国体全国大会で準優勝 吹奏楽部全道高校吹奏楽コンクールで6回目の優勝
1969	昭和44年	卒業式のあり方を巡って学園紛争が起こる
1970	昭和45年	バスケット部高体連全国大会へ出場 生物部高文連全道理科研究発表大会で最優秀校に決定 北海道新聞社主催の全道高校新聞コンクールで「西高新聞」3位に入賞
1971	昭和46年	バスケット部（女子）全国大会に出場 吹奏楽部全国大会で銀賞受賞
1972	昭和47年	美術部高文連美術展で2名入賞
1975	昭和50年	創立70周年記念式典挙行
1980	昭和55年	校舎改築のため仮校舎（旧白百合高校）に移転 【定時制】創立30周年記念式典挙行
1983	昭和58年	新校舎に移転
1984	昭和59年	ボート部奈良国体出場 全道書道展で文部大臣賞受賞
1988	昭和63年	校訓制定 つゝじヶ丘祭で「エコーズ」（卒業生辻仁成率いるロックバンド）の講演
1990	平成2年	【定時制】創立40周年記念式典挙行
1992	平成4年	【定時制】定時制課程第1学年募集停止
1995	平成7年	【定時制】卒業式・閉課記念式典・記念碑除幕・惜別の会 創立90周年記念式典挙行
1996	平成8年	合唱部全日本合唱コンクールで奨励賞受賞
1999	平成11年	ボート部高体連全国大会ダブルスカルで3位
2001	平成13年	ボート部高体連全国大会ダブルスカルで3位
2002	平成14年	ヨット部高体連全道大会で女子シングルスカルで優勝…この年より3年連続優勝
2006	平成18年	第53回NHK杯全国放送コンテスト全国大会・制作テレビ部門優勝 創立100周年記念式典挙行
2007	平成24年	2年三浦万由子さん有島武郎青少年文芸賞優秀賞受賞
2015	平成27年	創立110周年記念式典挙行
2016	平成28年	書道部の若山 翔（3年）君が全国高校総合文化祭に出場し文部科学大臣賞を受賞